

キュンとする子どもの居場所プロジェクト  
(子ども向けワークショップ)  
実施報告書

令和7年9月

藤沢市

## 目次

第1章	ワークショップの開催概要	1
1	目的	1
2	開催タイトル	1
3	対象者	1
4	開催日時	1
5	開催場所	1
6	申し込み状況	1
7	参加者数	1
第2章	ワークショップ実施報告	2
1	開催の流れ	2
2	ゲーム紹介	3
3	実施報告	5
4	子どもが考える理想の居場所と大人の事情を加えた現実の居場所との隔たり	17
5	参加者アンケート調査	18

# 第1章 ワークショップの開催概要

## 1 目的

- 子どもの意見を大切にしたい子どもの居場所づくりが必要であることを発信する。
- 「(仮称)第2期藤沢市子どもの居場所づくり推進計画」の策定・推進に向けて、子どもが考える藤沢市の子どもの居場所における課題を把握及び意見を聴取する。
- 計画の目指す方向(子どもの居場所における大人と子どもの隔たりの解消)を実現するために、理想の子どもの居場所を検討してもらうとともに、子どもが考える理想の居場所と、大人の事情が加えられた現実の居場所づくりを通して、居場所における子どもと大人の考えの隔たりを探る。

## 2 開催タイトル

- キュンとする子どもの居場所プロジェクト

## 3 対象者

- 概ね9歳～18歳
- このワークショップに興味を持ってくれた子ども

## 4 開催日時

- 8月21日(木)市民会館 午後2時～4時
- 8月22日(金)市民会館 午前10時～正午

## 5 開催場所

- 藤沢市民会館



募集チラシ

## 6 申し込み状況

- 28名
- ※事前申込制(e-kanagawa 使用)
- ※募集スケジュール:令和7年7月20日(日)～8月11日(月)
- ※7月25日号広報ふじさわ、すぐーる(7月小学校長会、7月中学校長会)、市の公式 LINE 等を通して告知した。

## 7 参加者数

- 8月21日(木)市民会館 午後2時～4時  
参加者:13名、大学生インターン(ファシリテーター):6名
- 8月22日(金)市民会館 午前10時～正午  
参加者:27名、大学生インターン(ファシリテーター):6名
- 協力・監修:非営利団体ボードゲームでツナグ手(ボドツナ)代表 長山 陽司

## 第2章 ワークショップ実施報告

### 1 開催の流れ

○ワークショップ当日の実施スケジュールは、以下の通り。

21日 (木)	22日 (金)	所要時間 (分)	活動	活動の説明
14:00 ～ 14:02	10:00 ～ 10:02	0:02	開会	はじめのあいさつ
14:02 ～ 14:07	10:02 ～ 10:07	0:05	子どもの居場所についての説明	
14:07 ～ 14:12	10:07 ～ 10:17	0:10	アイスブレイク 自己紹介	
14:12 ～ 14:14	10:17 ～ 10:19	0:02	ワークショップ 理想の子どもの居場所 づくりゲーム	
14:14 ～ 14:19	10:19 ～ 10:24	0:05	セクション1	自分が居場所に欲しいと思う施設選び
14:19 ～ 14:34	10:24 ～ 10:39	0:15	セクション2 理想の居場所設計編	理想の子どもの居場所づくり
14:34 ～ 14:44	10:39 ～ 10:49	0:10	理想の居場所 自慢タイム	自分たちで作った理想の居場所について インタビュー
14:44 ～ 14:49	10:49 ～ 10:54	0:05	休憩時間	
14:49 ～ 15:19	10:54 ～ 11:24	0:30	セクション3 現実の居場所づくり編	現実の子どもの居場所づくり
15:19 ～ 15:25	11:24 ～ 11:30	0:06	セクション4 まとめのじかん	グループごとゲームの感想や、完成した居 場所について意見交換
15:25 ～ 15:55	11:30 ～ 12:00	0:30	発表	グループごとみんなの前で発表
15:55 ～ 16:00	12:00 ～ 12:05	0:05	おわりのあいさつ	
16:00 ～ 16:05	12:05 ～ 12:10	0:05	閉会のアナウンス	



(当日の様子)

## 2 ゲーム紹介

○協力・監修:非営利団体ボードゲームでツナグ手(ボドツナ)代表 長山 陽司 氏

### (1)基本設定

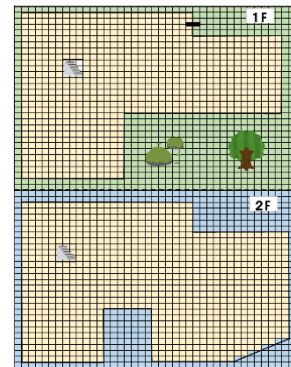
#### ア フィールド

○理想の子どもの居場所設計図

黄色エリア:屋内

緑エリア:屋外

水色エリア:空中



○フィールド

#### イ ユニット

○施設



○ユニット

#### ウ カード

○大人の事情カード

住民:住民の声

市役所:市役所の思い

施設長:施設長の考え



○大人の事情カード

### (2)ゲームルール

#### セクション1

一人ひとりが欲しい施設を10個選んで一覧に記入 約5分

欲しい施設一覧表		
1		6
2		7
3		8
4		9
5		10

欲しい施設を  
1人10施設まで  
書いてもらう

#### セクション2

#### 理想の居場所づくり編

個人で選んだ施設をもとにグループ内で理想の居場所を設計する。

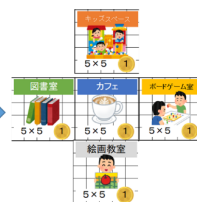
セクション1の個人が欲しい施設を元にグループ全員の理想の居場所を作る。

#### セクション2ゲームルール

①設置した施設には、入口をつけよう。

4方向を、他の設備や壁で囲ったら入れなくなるよ

カフェに入れないから×



②施設を設置できるのは この色のフロア

緑の屋外だけ。

←空中エリアには設置できないよ

### セクション3

#### 現実の居場所づくり編

セクション2で設計した理想の居場所に大人の事情や予算などの制限を与えていきます。

○大人の事情カードを引く

○受付、駐輪場を受け取る(必ず設置する施設)

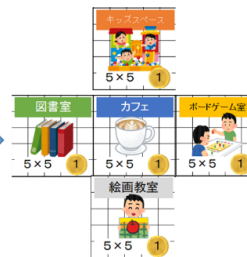
「ゲームのルール～現実の居場所づくり編～」を元に、理想の居場所に近づくように、現実の居場所づくりをする。


#### ゲームのルール ～現実の居場所づくり編～

①設置した施設には、入口をつけよう。

4方向を、他の設備や壁で囲ったら入れなくなるよ

カフェに入れられないから×



②施設を設置できるのは  この色のフロア

 緑の屋外だけ。

 ←空中エリアには設置できないよ

③理想の居場所から外した施設は設置をあきらめた施設に置いてね


④予算は各テーブル「50コイン」だよ


⑤「音が出る施設」と「静かにしてほしい施設」は、隣に設置できないよ。

音が出る施設と静かにしてほしい施設は、自分たちで判断しよう2マス以上間が空いていたら OK

こんなのも×



⑥駐輪場は  この色のエリア

受付は  この色のエリアに必ず置いてね。

⑦住民の声、市役所の想い、施設長の考えは必ず達成しよう！



### セクション4

ゲームの感想や完成した居場所について意見交換をし、グループごとに発表してもらいます。

### 3 実施報告

各日6グループに分かれ、居場所づくりのボードゲームを用いて、子どもの考える子どもの居場所と大人の考える子どもの居場所の違いを可視化して、子どもたちから意見聴取を行った。

#### (1)8月21日(木)

##### ア Aグループ

○参加者:小学校3年生1人、4年生1人、5年生1人

○大人の事情カード 市民:運動施設を一つしか設置できなくなる

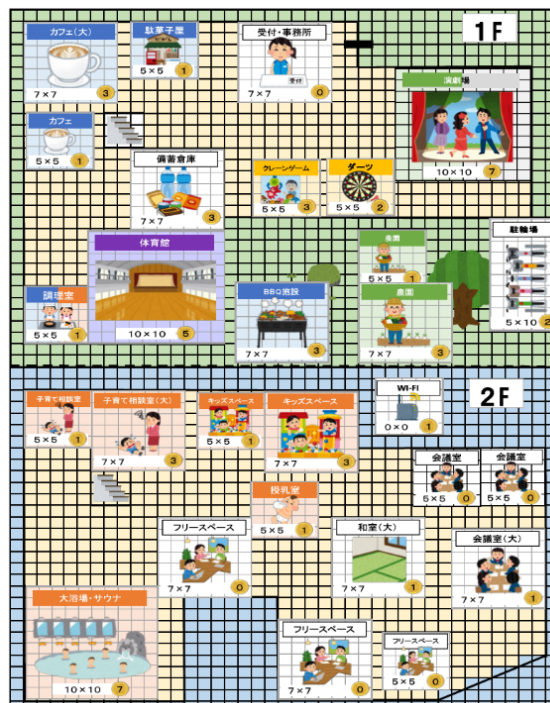
市役所:備蓄倉庫、体育館を必ず設置する

施設長:2階には子育て施設、多目的施設しか設置できなくなる

理想の居場所



現実の居場所



#### 主な隔たり、変更点

- 理想は、やりたいこと、楽しいこと、やってみたいことを盛りだくさんにした。
- 大人の事情は、安全面から運動施設は一つのみ、倉庫・体育館を設置する、2階は子育て施設と多目的室のみだった。
- 大人の事情に対しては、楽しくない、面白くないという率直な意見が出された。一番置きたいプールが置けなくなり、悲しい気持ちになった。
- 【グループ内で子どもと一緒に参加した保護者の意見】2階には、授乳室、キッズスペース、子育て相談室等を設け、未就学児の保護者には十分な空間だが、小学生の保護者からすると必要のない空間と感じてしまった。

## イ Bグループ

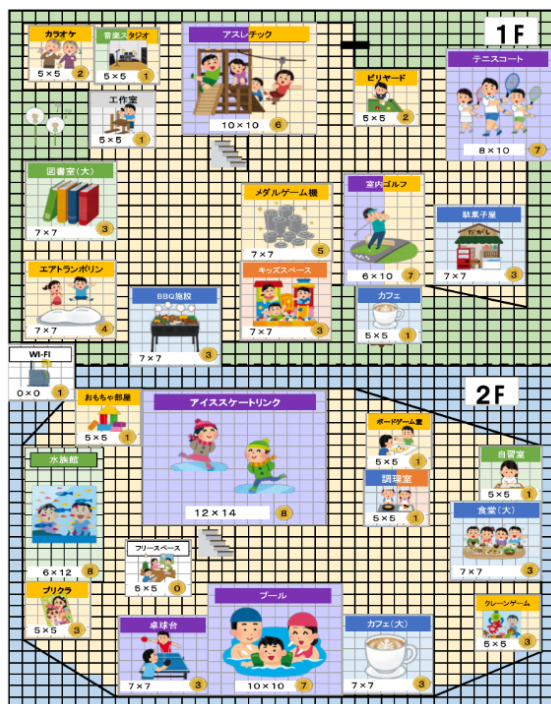
○参加者:小学校4年生1人、5年生1人

○大人の事情カード 市民:予算が5すくなくなる

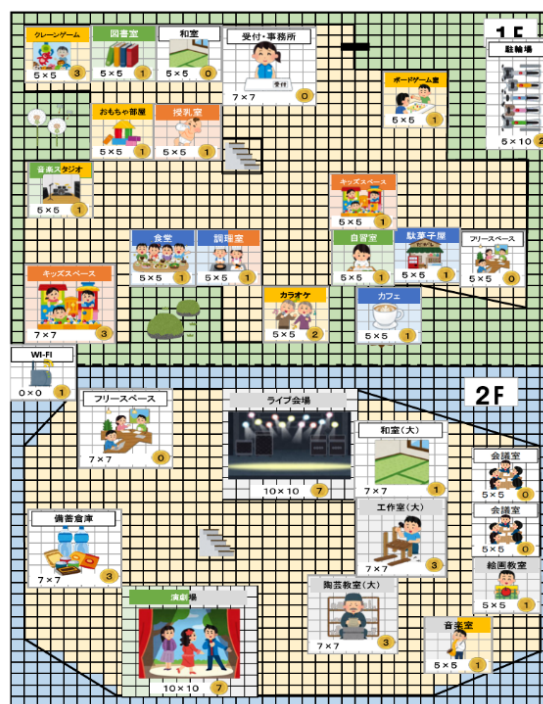
市役所:施設の間を3マス以上空ける

施設長:2階には芸術施設、多目的施設しか設置できなくなる

理想の居場所



現実の居場所



### 主な隔たり、変更点

○最初は、大型のスポーツ施設やアミューズメント施設を入れた。

○大人の事情は、余計のお金は使わない、バリアフリーの施設にする、2階は静かに使ってほしいというもの。

○現実には、スポーツ系の施設が少なく、子どもにとって嬉しくない、楽しくない施設になってしまった。

○大人の事情として、3つの条件は多いと感じるという意見が出された。予算の制限とバリアフリーによる空間の制限が厳しい点が、楽しくない施設になってしまった大きな要因だと思う。

○現実の居場所をより良くするためのアイデアとしては、買い物やお土産を購入できる場所があると良いのではないかという意見が出された。

## ウ Cグループ

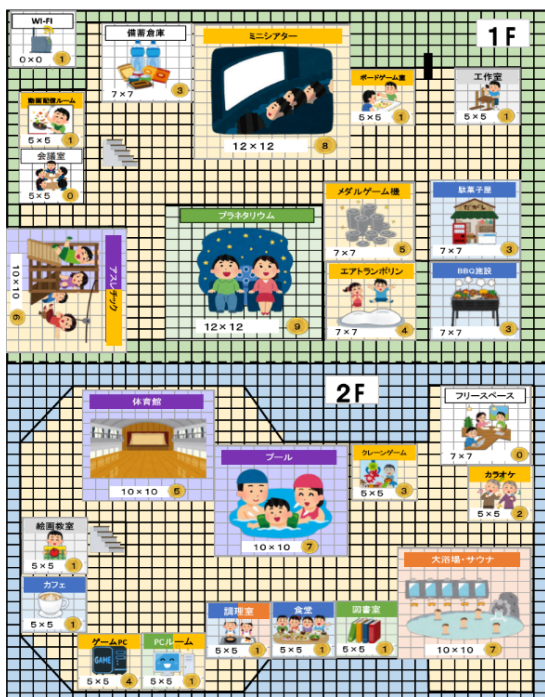
○参加者:小学校5年生1人、中学生1人

○大人の事情カード 市民:遊び施設を1つしか設置できなくなる

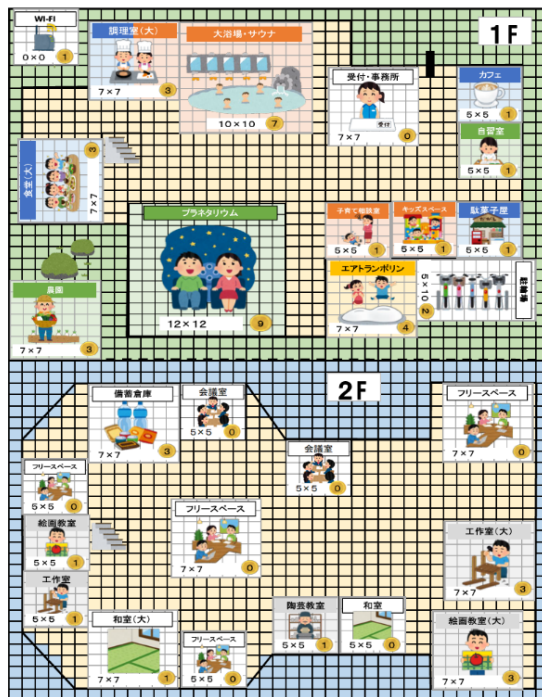
市役所:温泉施設、食堂(大)を必ず設置する

施設長:2階には芸術施設、多目的施設しか設置できなくなる

理想の居場所



現実の居場所



### 主な隔たり、変更点

○理想は、楽しいことを詰め込んだ居場所だった。

○大人の事情は、ガラの悪い人が来るかもしれない、お年寄りも使える施設にしてほしい、2階は静かに使ってほしいで、結構、制限がかかってしまった。

○現実には、遊び場が1つしか作れず、楽しいことを詰め込んだ理想の施設ではなくなってしまった。遊びがトランポリン1つだけになり、トランポリンが終わったら、ゆっくり休むだけの施設になってしまった。2階は物足りない、寂しい感じになってしまった。子どもが楽しむところがトランポリンしかないなので、子どもは1階にしか来ない施設になり、つまらなくなってしまったというのが率直な意見だった。

○他のグループのように予算制限はなかったが、当初の条件の予算でも多少少なく感じた。

○どうすれば現実の居場所をより良くできるということで、1つだけではなく、もう少し遊び場が作れるように大人にお願いしたり、フリースペースを上手に使えるように工夫すれば、もう少し楽しめるようになる等の意見が出された。



## オ Eグループ

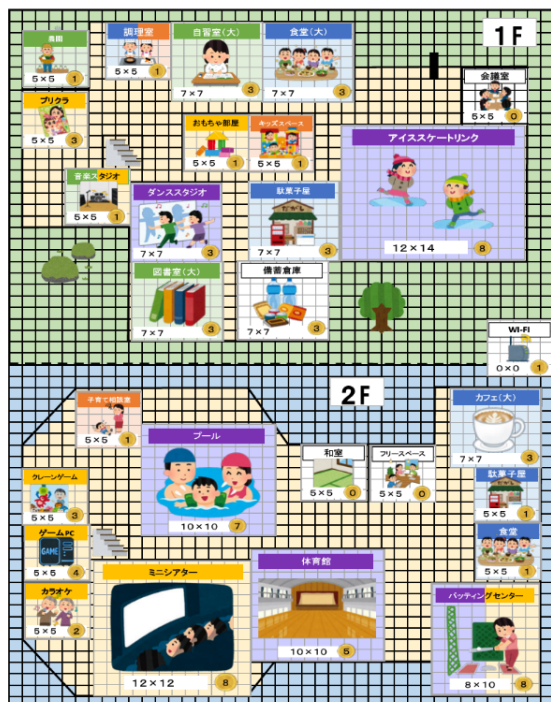
○参加者:高校生2人

○大人の事情カード 市民:予算が5すくなくなる

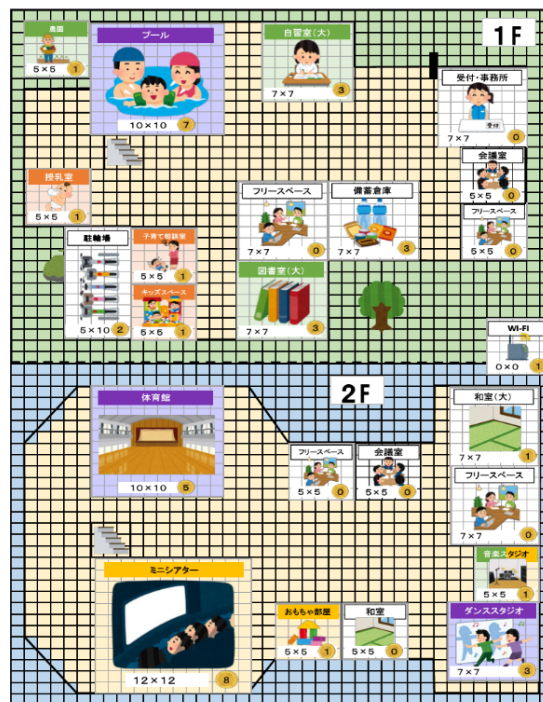
市役所:施設の間を3マス以上空ける

施設長:飲食施設を設置できなくなる

理想の居場所



現実の居場所



### 主な隔たり、変更点

○理想では、やりたいことをたくさん詰め込んだ居場所にした。飲食を2か所入れたのは、飲食の場は、憩いの場にもなるため。飲食するだけでなく、皆が触れ合い、寛ぐことができる。

○大人の事情は、お金を使わない、バリアフリーに配慮する、飲食禁止。

○飲食がなくなったのが結構大きかった。

○理想と現実の居場所を比較すると、現実の居場所では面白みがなく、ありきたりで、どこにでもありそうな施設になってしまった。

○現実の居場所をより良くするためには、そもそも飲食禁止というのは、飲食をすると施設が汚れるということだと思うので、飲食スペースを狭くするとか、監視する人をつける等による汚れることを減らすことができるのではないかという意見が出された。

○飲食がない現実の居場所をより魅力的にするために、珍しい施設・部屋を置くという意見が出された。例えば、ダンススタジオ等。他ではあまりない施設・部屋を設けることで、子どもの可能性を伸ばすことができると良いという意見が出された。

○プール、テニス、ダンス等、習い事に使える施設を多く置くことで、この施設に定期的に来る人を増やすことができるのではないかという意見が出された。



○結果的には、運動、飲食、休憩のバランスが良い居場所になった。プールや体育館で遊び、おながすいたらごはんを食べ、その後お風呂に入り、和室や休憩スペースで休憩できる居場所になった。一日過ごせる居場所になったので充実していると思う。

**(2)8月22日(金)**

**ア Aグループ**

○参加者:小学校1、2年生6人

○大人の事情カード 市民:

市役所:備蓄倉庫、体育館を必ず設置する

施設長:

理想の居場所



現実の居場所



**主な隔たり、変更点**

- 理想の居場所では、自分たちが遊びたい施設を入れた。
- 制限として、備蓄倉庫と体育館を必ず設置する、が加わったことで、どんどん楽しい施設がなくなってしまった。大人の事情が1つなら、まだ遊ぶことができる施設だという印象がした。
- 予算の制限があり、外した施設も複数あった。
- 現実の居場所でも遊びたいとは思うという意見が出された。

## イ Bグループ

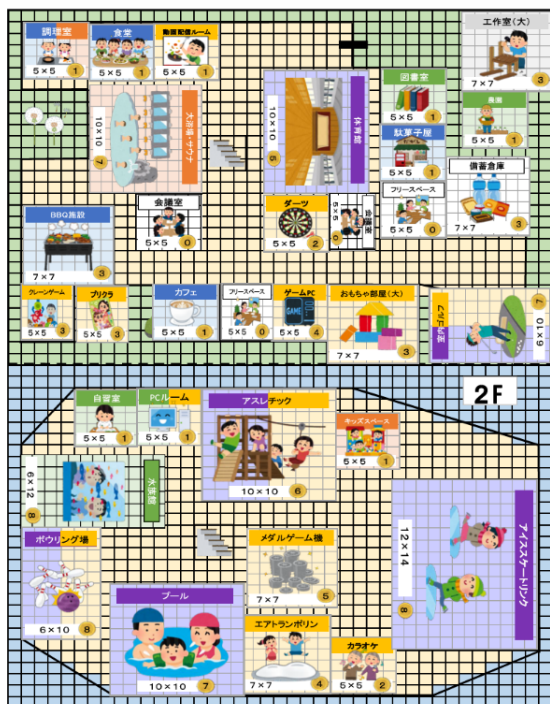
○参加者:小学校2年生6人

○大人の事情カード 市民:建物の外に施設が設置できなくなる

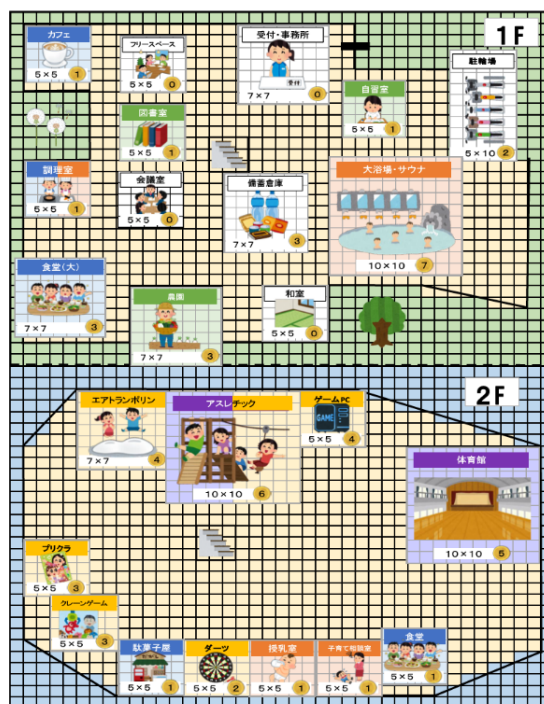
市役所:温泉施設、食堂(大)を必ず設置する

施設長:

理想の居場所



現実の居場所



### 主な隔たり、変更点

○最初はコインの数(コスト)が108で、楽しさモリモリの施設だった。

○大浴場を出た後、和室で休むことができる場所がおススメ。

○大人の事情は、子どもの声がうるさい。2階なら声が響かないと思ったので、遊ぶ施設は2階に設置し、1階を休める施設にした。

○まだ遊びに行きたい施設になっている。



## エ Dグループ

○参加者:小学校4年生4人

○大人の事情カード 市民:遊び施設を1つしか設置できなくなる

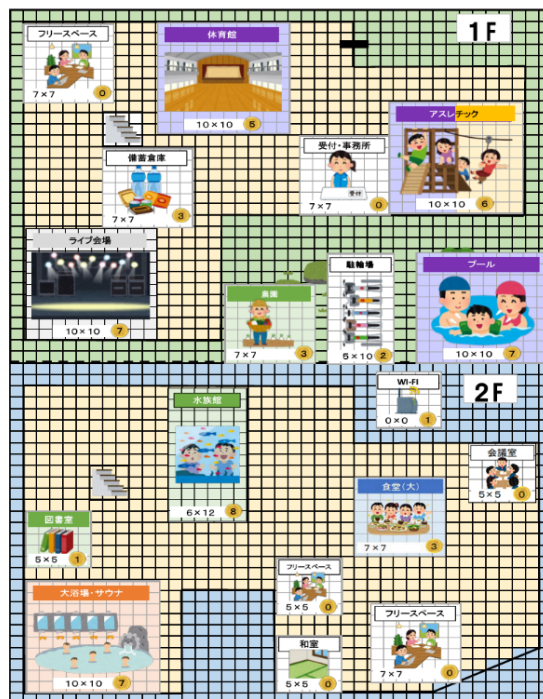
市役所:温泉施設、食堂(大)を必ず設置する

施設長:飲食施設を設置できなくなる

理想の居場所



現実の居場所



### 主な隔たり、変更点

○理想は、アスレチックやプール、ミニシアター等、遊ぶ施設がたくさんあった。

○大人の事情は、遊びの施設は1つのみ、飲食禁止。

○大人の事情で、楽しくなくなりました。遊ぶ施設がたくさんあっても治安は悪くならないのではないか、子どもの意見を十分にきいてくれているのではないかという意見が出された。

○汚れるから飲食禁止というのは、子どもたちを信用していないのではないかという意見が出された。



## カ Fグループ

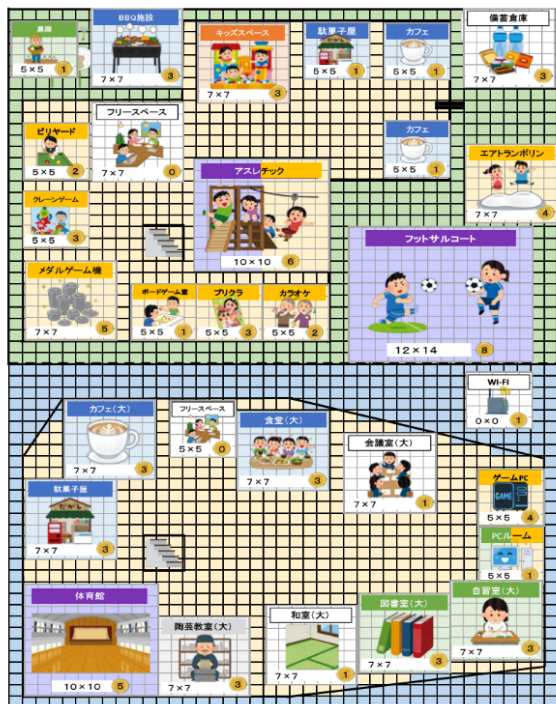
○参加者:高校生3人

○大人の事情カード 市民:運動施設を1つしか設置できなくなる

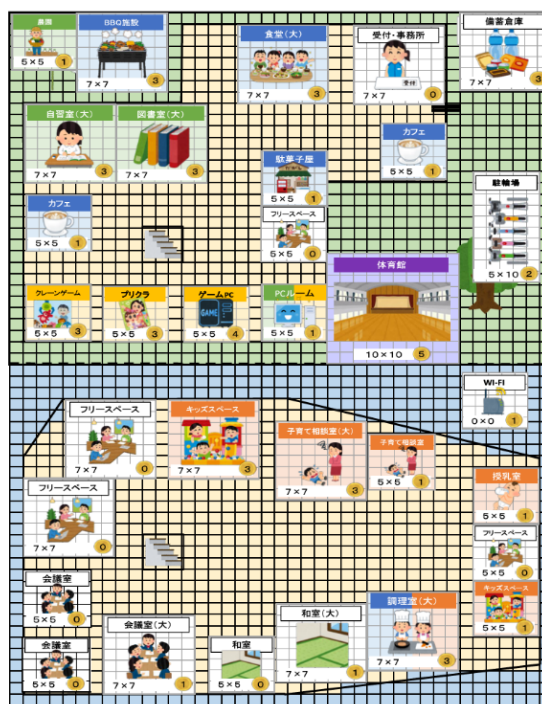
市役所:備蓄倉庫、体育館を必ず設置する

施設長:2階には子育て施設、多目的施設しか設置できなくなる

理想の居場所



現実の居場所



### 主な隔たり、変更点

○理想は、1階に飲食店とゲームコーナーを設置して、2階を静かなスペースにした。屋外の施設も充実させることで、様々な世代が多目的に使用できる居場所にした。

○大人の事情は、倉庫と体育館を設置する、2階を子育て支援に使いたい。

○運動施設が1つで体育館を設置するというのが、結構大きな制約だった。1つだと遊ぶには不十分でわざわざ足を運ぶ気分にはならない、あまり遊ぶ気分にならずに大人の事情が強い施設になったという意見が出された。

○子育て支援のスペースを作っても、保護者は、子ども遊ぶ施設に来る習慣がないから、来ないのではないかという意見が出された。

○飲食は、あらゆる世代に必要な施設だと思う。遊びの施設が減らなければ良い施設だったと思う。

#### 4 子どもが考える理想の居場所と大人の事情を加えた現実の居場所との隔たり

- 大人の事情で、現実はかなり厳しくはなったが、バランスの取れた居場所になったので、より良くするという視点では、子どもの視点だけではなく、大人の視点も大切だと思った。子どもの意見をより大切にしたいと思うが、大人の意見を入れてもバランスの良い施設にはなるので、よりこうした施設を、SNS等を通じて知ってもらうことが大事だと思う。
- 運動する時間が居場所にもなる。また、活動する中で生まれる関係性も居場所になる。制限があっても、色々工夫することで、充実した居場所になると思う。
- 大人の事情には、納得できる面もある。大人の事情で、子ども向けだけでなく、幅広い世代向けの施設になったことは悪いことだとは思わない。子どもと高齢者が交流するきっかけとなる施設になることは良いことだと思う。大人が子どもの要望に十分に理解するとともに、施設を利用する子どもたちも大人な事情への理解・納得できる機会があると良い。
- プールや遊ぶ施設も大切だが、目的は多くあった方が、子どもたちは、遊んだり、学んだりできるのではないか。
- 大人の事情は、施設の評価が下がらないように配慮していることという考え方もあった。

## 5 参加者アンケート調査

### (1)満足度

評価	良かった	まあ良かった	普通	あまり良くない	良くない	未回答
人数	27	5	3	1	0	4

### (2)参加した感想

- 施設を作るときに理想の施設をいれるだけではなく、大人の事情を聞いた上で施設を作り直すことが現実的で良い経験になりました。また、他のグループの話や同じグループの方との意見を聴くことができるので高齢者への配慮などの気づけないことも知れる所もいいと思いました。
- 大人の声で子どもの自由な居場所じゃなくなりましたが、どうすれば子どもの居場所になるかと考えたことが難しかったです。
- 自分たちが考えて作った場所と大人たちが考えている理想の場所が違って、とてもびっくりしました。
- 大人の意見を経て、交流の場として置いていた飲食が消えてしまい、実在するありきたりな場所になってしまいました。しかし、その中でも、運動施設を置くことにして、場所だけでなく時間や人間関係の面での居場所を作ることを重視して、よりよい空間にできるように工夫した。
- 子どもの施設なのに、大人は自分のことばかりだなって思った。
- 思っていたよりも大人からの子どもへの目や信用があまりないのだと思った。
- 市の計画に参加できたような気分になった。
- みんなで理想の施設を考えるのは楽しかったけど、大人の事情などもあいまってそれを実現するのは大変だと思った。
- 大人の事情と子どもたちがほしい居場所に大きなギャップがあることを知れました。私自身将来人々の居場所を作るお手伝いができたらうれしいなと改めて思いました。